

岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要

第 29 号

論 説

川端康成『乙女の港』論

－「魔法」から「愛」へ・中里恒子草稿との比較から－……………中 嶋 展 子…………… 1

『枕草子』「成信の中將は」章段を物語論として読む……………同免木 利 加…………… 15

积极修辞与创新の限度（積極的な修辞と創新の限度）……………霍 四 通…………… (1)

『プロヴァンシアル』における道德論争と言語批判……………永 瀬 春 男…………… (13)

在日留学生の間での社会文化的適應のスケールの探索的因子分析

…………… SIMIC-YAMASHITA, Mira & TANAKA, Tomoko…………… (27)

動産讓渡担保の法的構成－担保権的構成の再構築－……………町 田 余 理 子…………… (39)

不法行為準拠法に関する近時の中国学説

－「最も重要な関係の原則」と弱者保護を中心に－……………殷 駿…………… (53)

中国における非流通株改革によるコーポレート・ガバナンスの改善……………王 春 香…………… (75)

神戸福原における安徳天皇新内裏の位置についての考察

－陰陽五行思想からの分析－……………曾 我 とも子…………… (95)

著作者人格権に関する課題と検討

－著作者人格権の不行使特約と放棄の問題を参考に－……………田 中 宏 和…………… (111)

「～トイエバ」について－疑問文を受ける場合－……………陳 新 妍…………… (131)

中国東北三省における都市貧困問題の構造と対策 (2)……………白 雪 松…………… (151)

古代・中世における「巡礼」……………林 蕙 如…………… (167)

トルコ語の指示詞－“şu”系列指示詞の機能を中心に－……………BALPINAR, Metin…………… (179)

自己の名前と選択的注意：オドボール課題による検討

……………塩 田 真 友 子・畠 中 七 瀬・堀 内 孝…………… (199)

2010年3月

著作権について

本誌の著作権については、次のとおり取り扱います。

本誌に掲載された論文の著作権は、岡山大学大学院社会文化科学研究科に帰属する。ただし、論文の著者は、その著作論文について、岡山大学大学院社会文化科学研究科の許可を得ずに、その内容を他に転載できるものとする。

(『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』に関する申合せ6の七による。)